

6/20

船橋市議
補欠選挙

さがわ
佐川

たける
長

Sagawa
Takeru

最優先はコロナ対策！



昨年、持続化給付金の申請を手伝った店主の、給付が受けられたときの笑顔が忘れられません。それでも命と暮らしを守る手だけがまだまだ足りないと感じています。走りまわって聞いた現場の「声」をどんどん市政に届けます。

フードバンクを手伝って

「1日200円しか使えない」「乾麺で1週間しのいだ」「大学を辞めようと思ってる」——新型コロナの影響でアルバイトを失い、仕送りも減ってしまった200人の学生の言葉を聞いてきました。夢をあきらめないように若者の生活支援を求めます。

団地に暮らして

団地自治会の役員として、「年金は減る一方、国民健康保険料が上がり続け、家賃が高くてもう払えない」と住み慣れたまちを離れる高齢者の姿に何度も涙しました。住まいは権利です。誰もが安心して住み続けられる船橋を実現するためにがんばります。



船橋は
いい街
で暮らす
もっとも
もっとも

働く世代の一人として

20年前、私も「非正規」で働いていました。不安定・低賃金労働から抜けだせず、もがき苦しむ、いまの働き方のままでは希望が持てません。一部の富裕層だけが富を増やすような社会を変えたい。働く者の暮らしを守る政治をめざします。



市民によりそい
提案・行動!!
コロナ対策に全力!



日本共産党員として

「なぜがんばって働き続けても楽にならないのだろうか」——働く仲間を大切にしてきたからこそ抱いてきた疑問です。そんなとき、マルクスの資本論と出会い、世の中の見方が変わりました。働く者の命よりも、利益が優先される資本主義の社会を変えない限り、この疑問は消えることがないと感じたのです。その思いで入党しました。今でもかつての仲間から「がんばって社会を変えてほしい」「オレたちがもっと楽に生きれるようにしてほしい」と連絡をもらいます。日本共産党は、ひとりひとりの声を聞き、それを政治へ届けてきました。「共産党がいるから日本の福祉はかろうじて保たれている」——無党派の父親の言葉です。

先輩たちの不屈の精神を受け継ぎ、働く人たちがあたりまえの「希望」をいつでも胸に持ていられる、そんな社会をつくっていく。全力でがんばりたいと思います。



民主主義を守る

私は映画や文学が大好きです。香港に対する「国家安全維持法」の強行、民主化を求める勢力への弾圧強化など、エスカレートする中国の人権侵害を見過ごすわけにはいきません。中国に対して「国連憲章と国際法を順守せよ」と、私も声をあげます。

佐川
長
プロフィール

【出身】秋田県秋田市

【年齢】1977年生まれ 44才

【家族】パートナーと、娘がひとり

【経歴】秋田県立秋田中央高校卒業。映像制作会社、民間警備保障会社勤務を経て、2018年より日本共産党千葉県西部地区委員会勤務。現在、常任委員、青年学生部長。



日本共産党
千葉県西部
地区委員会
Youtube
チャンネル



佐川 長
Twitter
アカウント



▲佐川長イメージキャラクター